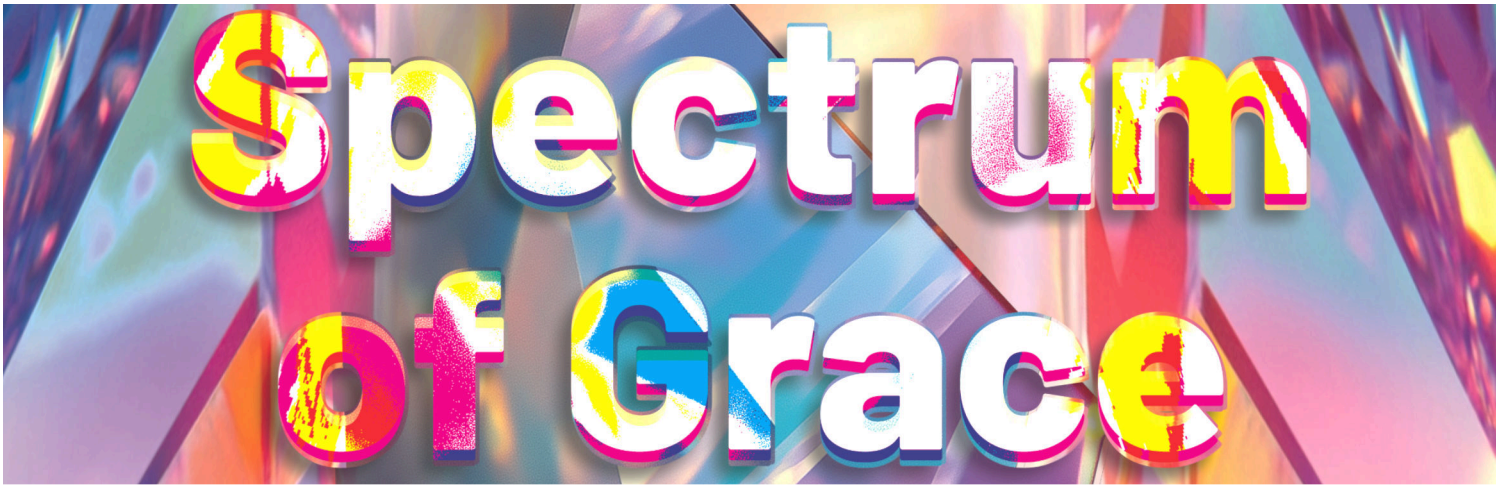


Week of August 30, 2026 - Step Into the Light　　Small Group Lesson 16

知り合う

ある物事や人についてよく知っているつもりだったのに、実際に体験したり直接会ったりしたことで、見方が完全に変わってしまった経験を教えてください。
なぜ最初の認識が間違っていたのだと思いますか？その後はどうなりましたか？

聖句　エフェソの信徒への手紙 5:8b-21（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

8b 光の子として歩みなさい。 9 光の結ぶ実は、あらゆる善と義と真理との内にあるからです。10 主に喜ばれるものが何かを吟味しなさい。 11 実りのない闇の業に加わらず、むしろそれを明るみに出しなさい。12 彼らがひそかに行っていることは、口にするのも恥ずかしいことなのです。13 しかし、すべてのものは光によって明るみに出されて、明らかにされます。14 明らかにされるものはみな、光だからです。それゆえ、こう言われています。／「眠っている者よ、起きよ。／死者の中から立ち上がれ。／そうすれば、キリストがあなたを照らされる。」 15 そこで、知恵のない者ではなく、知恵のある者として、どのように歩んでいるか、よく注意しなさい。 16 時をよく用いなさい。今は悪い時代だからです。 17 だから、愚かにならず、主の御心が何であるかを悟りなさい。 18 酒に酔ってはなりません。それは身を持ち崩す元です。むしろ、霊に満たされ、 19 互いに詩と賛歌と霊の歌を唱え、主に向かって心から歌い、また賛美しなさい。 20 いつも、あらゆることについて、私たちの主イエス・キリストの名により、父なる神に感謝しなさい。 21 キリストに対する畏れをもって、互いに従いなさい。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 8-10節でパウロは、光の子として歩み、主に喜ばれるものが何であるかを吟味するようにと語っています。11節によると、何が喜ばれるかを知るために与えられている具体的な方法は何ですか。また、闇に対して私たちはどのような責任を負っていますか？

2. パウロは、今は悪い時代であるため、注意深く歩み、時をよく用いるようにと信者に強く促しています（15-16節）。クリスチャンが日々の歩みの中で「時をよく用いる」とは、具体的にどのようなことでしょうか？

3. 17節は、愚かになるのではなく、主の御心が何であるかを悟るようにと命じています。悪に深く精通することなく、自然に神の御心を見分けるうえで、「光の中を歩むこと」はどのように役立つのでしょうか？

4. 18-21節で、パウロはぶどう酒に酔うことと、御霊（聖霊）に満たされることとを対比させています。御霊に満たされるための4つの能動的な実践（英語で「-ing」で終わる動詞で示されているもの）とは何ですか？また、それらはどのように互いに積み重なり、一致した教会を築き上げるのでしょうか？

分かち合い

話し合い　その１：

ジェシー牧師は、慎重に歩むことを、暗闇の中で綱渡りをするアクロバットに例えました。一歩一歩を正確に踏み出す必要があり、次の一歩を照らす唯一のものは神の御言葉というスポットライトです。あなたは今、人生のどの領域で暗闇の中を歩んでいると感じていますか。また、次の一歩を導いてもらうために、どのように神の「スポットライト」に拠り頼むことができるでしょうか？

話し合い　その2：

ジェシー牧師は、「神を恐れ尊んで、互いに従い合うこと」（21節）という最後のステップに行き着くまで、礼拝は完結しないと強調しました。教会共同体がキリストの光を放つために、この「互いに従い合うこと」はなぜそれほど重要なのでしょうか？また、今週のあなたの人間関係において、これを実践できる具体的な方法を一つ挙げるとしたら何ですか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。